

第24回全日本トライアスロン宮古島大会レポート 榎澤

開催日：2008年4月20日（日）

4/18

悪天候の中、何とか飛行機は飛んで、遅れて宮古島空港へ到着。説明会とパーティー。がつがつした雰囲気、結果的に炭水化物ばかり食べる。

4/19

相部屋の大先輩、杉本さん、浜口さんのお二人は、夜も早い朝も早い。開始時間と同時に朝食。バイクは意外とスムーズに組みあがった。微調整しつつ少し試走。午前中に徒歩でスイム会場へ行き試泳。最初の角まで言って折り返し。全部で1500m弱で、とりあえず1年ぶりの海での泳ぎに安心感を得る。

来間島へバイクの試走。橋の手前でゴーヤチャンプル。夏バテに効果ありとのこと。島はコースじゃないので、試走というより観光。サトウキビしぼりジュースのレモン、泡盛入りはなかなか。バイクのチェックイン後、荷物の整理。ベテランお二人の補給食の準備はすばらしい。

4/20

3時半前に起床。普段の生活とのずれがあるのでさすがに寝不足。真っ暗な道を徒歩で会場へ。アップをしてたらゴーグルのゴムが外れて水が目に。船上の小泉元首相の合図で、不安を抱えたまま30分早い7時スタート。

ひたすら安全策でバトルを避けて、外へ外へと泳ぐ。ゴーグルも大丈夫、不安だった前半も落ち着いて乗り切った。はるかに大回りした第1コーナーの後は内側のロープが見えるところを、ブイで距離をチェックしながら泳ぐ。第2コーナー後は減速感があったが人の群れとつきつ離れつ同じようなペース。人の声が聞こえてきたので、顔を上げて方向を確認して、少し力を入れて並泳している人に出てスイムフィニッシュ。時計を見ると目を疑う51分台。楽天的な想定より3分くらい早い。スイムタイムを気にして思わず走る。51分58秒（294位）で、自己新を4分37秒更新。潮の流れなど、好コンディションのおかげも多分にあったようだ。



いつもよりは急いでいるが、周りの人より明らかにぐずぐずしたトランジション。自分の周りには全部バイクがかかっているの、気分よくバイクスタート。

序盤、抜き傾向だが高速で抜き去っていく人もいる。曇り傾向で、風も例年よりはやさし

めか。並走しているバイクは下りで抜いて、直後の上りで引き離す。池間の折り返しの分岐点で先導の警官が行くのが見えた。基本は独走で、遠くに行く前の選手を目標に走る。東平安崎の手前、ここまで一人ずつ抜いてきた選手をまとめたような大集団に追いつかれ、渋滞気味の中を折り返し。次第にまわりに人がいなくなってきて七又海岸のアップダウン。



中間点を越えたここからが本番。前に行く選手たちを拾いながら進む。来間の手前、内腿がぴりぴりする。ごまかして走りながら積んであったアスリートソルトをがばっと口へ放り込み噛み砕く。功を奏したのか、なんとか本格的に攀らずに済んで、走りを取り戻す。さすがに、前の選手はなかなか近づかないし、その前の選手ははるかに遠くだ。2度目の池間島から帰ってくると、終盤気分だ。あんまりがんばらず、給水、給食の仕上げを。ボトルやバナナを持ってダッシュしてくれるボランティアのおかげで、カロリーも水分も十分。ゴール時のバイクのメーターは4 h 52 mだった。バイクラックで場所がわからず右往左往。まわりにバイクはほとんどかかっていない。5時間2分20秒(203位)で、自己新を8分40秒更新。



予定より貯金がある。晴れて厚くなってきた中、6分/kmでランに入る。抜かれ続けたが、それなりにまばらである。5kmは30分を切ったが、徐々にペースが落ちてペースの計算が良くわからなくなる。エイドから氷をなめて、スポンジを持って走り続ける。20km付近の長い上り坂、軽快に走る木村さんが抜いていく。急坂は少し歩いて上って折り返し。ペースは維持できないし、タイムも考えられない。エイドと5kmおきの距離表示を目指し、考えるのは残り距離数。すれ違った杉本さんは元気そうだ。なんとか30km。もう平地でも歩きたくなる。植木1本分の間隔とか決めて歩きを混ぜる。ランは今年もだめだったな、などと思う。35km、もう沿道の人はいあんまり切れなから、歩くのと変わらないような速度だが、走り続ける。沿道の人が新聞を広げて困っている。「くるみさわです」と名乗りながら走る。街中に入ってもまだゴールは遠い。いくつも角を曲がっても競技場はまだ先だ。でも、ここまで来れば時間の問題、何も考えずに走り続ける。競技場、意外に元気だ。ラスト30m、気持ちだけスパートしてゴール。今年の宮古島のレースは終わった。ランは4時間51分51秒(554位)で、自己新を3分23秒更新。ほとんど誤差だけど、自己新でよかった。でも144人に抜かれて、正味のバイクタイムにも負けたかも。



トータルでは、10 時間 46 分 9 秒 (335 位) で、自己新を 17 分 38 秒更新。もといけそうな気はしたけど、この結果には満足。

マッサージを受けて、みんなのゴールを待つ。去年に比べればレース後のダメージも無い。夜は、会社の先輩に誘われて、東北大のトライアスロン部の焼肉の会に参加。意外に飲めるし食べられた。

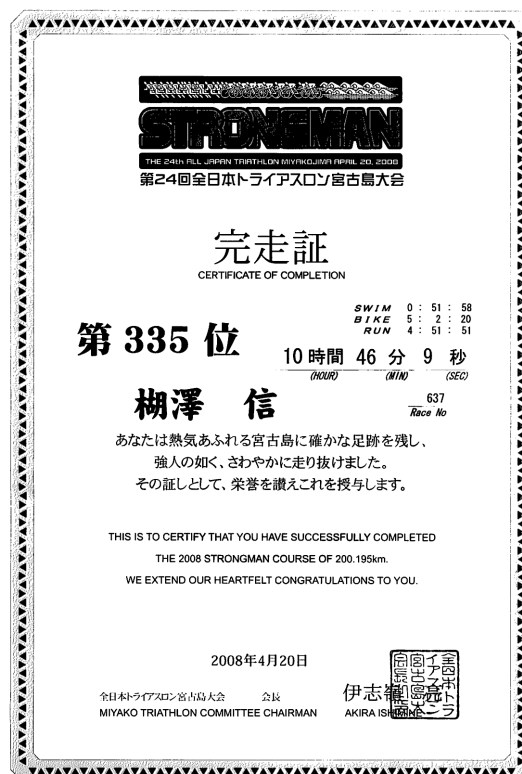


4/21

バイクを受け取って、オーバー60の会の方々に混ざってスタジアムのごみ拾い。知らなかった世界だ。ホテルに帰ってバイクを梱包、発想手配。会場に戻って表彰式のパーティーに参加。リラックスして、飲んで踊る。中辻さんのついで、民宿主催?のガーデンパーティーに参加。さらに飲んで踊って、門限過ぎに帰宿。

4/22

朝から雨。浜口さんの知人で地元の上地さんに案内してもらって、シュノーケリングに。足ヒレをつけて泳げるようになって、小さなウミヘビを見た。那覇経由で羽田へ。京浜急行はラッシュの時間帯だった。



レースは目標だった自己新が出て、それ以外にもいろいろな方々のおかげで多様な経験ができ、楽しむことができた。レース直後が、一番モチベーションが高い。また、トライアスロンをやってしまうんだらうな。